



株式会社 IHI 物流産業システム
【本宮市】

生産・調達本部 本宮工場長

及川 明夫

(製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉自動化・省人化のニーズは堅調でマテハン機器市場は引き続き拡大を続けるが、事業構造改革への取り組み効果が限定的で見通しは変わらない。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉利益体質への転換が進まず、採算も横ばい。

今年の課題

1. 事業構造改革と収益基盤強化
2. 成長事業の確立
3. 人材の確保

実施予定の事業や施策

1. ライフサイクルビジネス（アフターマーケット）を根幹に据えた事業の深化と進化
2. リスキリング実施による働き方改革

最大関心事

人手不足の深刻化。



会津ガス 株式会社

【会津若松市】

代表取締役社長

相馬 寛司

(ガス業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉前年が予定より大幅に伸びたことによる差もあるが、円安・資材高騰による消費落ち込みや設備投資の減少が予測される。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉固定費の減少等から一定の利益は確保できる見通し。

今年の課題

1. 新たなビジネスモデルの構築
2. 次世代の人材育成
3. 評価制度の見直し

実施予定の事業や施策

1. 事業業務における電子化の拡大
2. 働き方改革への対応

最大関心事

1. 金融政策
2. 中国経済が与える影響
3. コロナ収束後の県内経済



会津天寶醸造 株式会社

【会津若松市】

代表取締役社長

満田 盛護

(食品製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉既存事業は人口減少・少子高齢化の影響で減少傾向であるが、新製品の増加を見込む。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉値上の改善効果があるが更にエネルギー・原材料コストの上昇が続く為。

今年の課題

利益改善で労働分配率の上昇に対応する事。

実施予定の事業や施策

1. SDGs にそった商品開発の推進
2. HACCP 管理体制の継続強化

最大関心事

1. 農林水産業及び食品加工業の復興・復旧
2. 原発処理水の海洋放出とその影響
3. 観光の回復
4. 緊迫する世界情勢



会津土建 株式会社
【会津若松市】

代表取締役社長

菅 家 忠 洋

(建設業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉震災復興事業や公共工事の発注見通し、民間企業の新規案件や設備投資、福島県内の経済格差を総合的に鑑みると、全体的に減少傾向にあり、売上低下に影響すると見込まれる。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉戦争やコロナにおける世界経済の乱れが生じ、資材、原材料、エネルギーコストの高騰、また働き方改革や増税政

策など、企業の支出が増加し採算面にマイナス影響となる。

今年の課題

1. 中小期における綿密な受注計画の立案と新規案件の受注
2. 総合的な社内ファイナンスの見直し。デジタルに対するリテラシーの向上

実施予定の事業や施策

1. 働き方改革に対応したバックオフィスのDX化
2. 優秀な人材確保と育成プログラムの確立
3. 企業のブランディングと新たな認定制度の取得

最大関心事

1. 福島県内の地域格差と少子高齢化及び人口流出問題
2. 福島県内におけるPPP/PFI関連事業の発注動向。公共事業の予算及び発注形態の変化



株式会社 青木商店
【郡山市】

代表取締役会長

青 木 信 博

(飲食業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉前年に立ち上げた新ブランド「一果房」が通年で売上 up に貢献する。フルーツタルト工場の増改築が前年に完成し、供給増による売上 up を予定する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上 up は予定しているが、人件費、

原材料費、諸経費の上昇により採算は変わらないと考えている。

今年の課題

1. 採用の強化
2. 教育制度の確立
3. 営業強化

実施予定の事業や施策

1. 新規事業の立ち上げ
2. サプライチェーンの拡充
3. 教育制度の拡充

最大関心事

1. ショッピングセンターの集客力動向
2. パートアルバイトの時給と採用状況
3. 円安による輸入果実の単価 up



株式会社 アサカ理研
【郡山市】

代表取締役社長

山 田 浩 太

(貴金属精錬業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉主要取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産動向が2023年と比べ好転すると見込んでおり、主力製品である金の価格も堅調に推移することが見込まれるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉リチウムイオン電池再生事業にかかる開発費や今後の事業展開を踏まえた

積極的な人材の採用に伴う人事採用費や人件費の増加などにより採算状況はやや悪化すると考えているため。

今年の課題

1. 新規事業である「リチウムイオン電池再生事業」の事業化に向けた取り組み
2. 人材採用・育成
3. 貴金属の集荷量の拡大

実施予定の事業や施策

1. 新規事業である「リチウムイオン電池再生事業」の事業化に向けた研究開発
2. 人材育成・教育制度の拡充

最大関心事

1. EV、リチウムイオン電池の普及動向
2. 資源リサイクル分野の動向
3. 貴金属相場、外貨為替の変動



アサヒビール 株式会社
福島工場

【本宮市】

理事 工場長

宮崎 真二郎

(ビール類製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉2023年10月酒税改正によりビール市場シェアが高く、新ジャンル（第3のビール）市場シェアの低い当社にとってポジティブな影響が見込まれるものの、酒類市場トータルの縮小により相殺されると思われる。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉売上が安定した場合でも、長期的円安による原材料価格の高騰により採算は悪化すると思われる。

今年の課題

既存事業ポートフォリオの見直し、未来の新価値事業領域の創造。

実施予定の事業や施策

生産部門においては、6工場での最適生産体制の確立、新工場の設立準備および生産推進体制の見直し（部門・拠点・職場を超えた働き方の見直し）。

最大関心事

2023年10月酒税改正の影響、アフターコロナの外出産業の回復。



株式会社 朝日ラバー

【泉崎村】

代表取締役社長

渡邊 陽一郎

(工業用ゴム製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉車載関連ビジネスが好転する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉売上増並びに新規事業の貢献による。

今年の課題

事業力強化に伴い人材補強や育成が必要。

実施予定の事業や施策

医療・ライフサイエンス事業や新規事業への投資。

最大関心事

人材不足など。



アルス 株式会社

【本宮市】

代表取締役社長

大内 勉

(半導体製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉半導体の在庫調整が一服し、回復基調に入っていくため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉半導体需要の回復により、生産量

が増加し、効率が改善され採算が好転する。

今年の課題

1. コスト競争力のある新製品の開発
2. 迅速な量産化への移行

実施予定の事業や施策

新製品製造のための設備投資。

最大関心事

電力費を含むエネルギーコストの推移。



アルプスアルパイン 株式会社
【いわき市】

取締役常務執行役員

遠藤 浩 一

(車載用音響・情報機器製造販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉自動車市場の回復及び新規ビジネスの獲得により売上高は前年比増加する見込み。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上高は2023年比増加を見込むも、

モデルミックスの変化により採算状況はほぼ変わらない見込み。

今年の課題

1. 事業ポートフォリオの転換
2. 事業構造改革の推進

実施予定の事業や施策

1. 高付加価値事業の受注獲得と不採算事業の収益改善
2. 車載情報機器事業の良質化

最大関心事

1. 自動車業界におけるEV化の進展状況
2. 良質な人材の確保と育成



飯島米穀 株式会社
【郡山市】

代表取締役社長

飯島 成一

(米穀取扱業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉米は昨年より値上げになっているが、人流がほぼコロナ前に戻りつつあるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉売上げ上昇により、利益の改善になるから。

今年の課題

精米設備の入れ替えが終了したので、今後の稼働状況の確認。

実施予定の事業や施策

営業力を強化し、全国規模での展開。

最大関心事

農業に携わる人口の激減。



株式会社 いちい
【福島市】

代表取締役社長

伊藤 信 弘

(小売業(スーパーマーケット))

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉物価上昇による消費マインドの落ちこみにより、売上減。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉原価上昇や、光熱費上昇の価格転嫁が、難しい為。大手小売の値下げに対応していく必要がある為。

今年の課題

1. 物価・原価・光熱費上昇に対応すること
2. 人件費を抑えながらも、人員確保に努めること

実施予定の事業や施策

2024年春に open 予定の桑折店およびグランピング事業の新規事業。

最大関心事

1. 福島駅東西の再開発(ヨーカ堂跡地を含む)
2. 消費税減税の実施
3. 伊達のイオンモール開発



株式会社 栄楽館
ホテル華の湯

【郡山市】

代表取締役社長

菅野 豊臣

(宿泊業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉個人旅行は堅調。団体旅行が様子見の状態でしたが、少なからず戻ってくるのではと思います。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉生産性向上の施策による効果が出

て、固定費を抑える事ができると考えられる。

今年の課題

優秀な人材の確保。エネルギーコストの高騰にどう対応していくか。

実施予定の事業や施策

付加価値を高めた旅館商品の整備。常磐もの、福島県産品を積極的に活用し、調理人技術向上にも寄与したい。

最大関心事

観光施策へのさらなる理解醸成と実行。処理水の問題により、インバウンド客にどのくらいの影響を及ぼすのか。



株式会社 エルマーノ

【伊達市】

代表取締役会長

福島ニット協同組合・理事長

加藤 政敏

(横編ニット製造販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

今年の課題

人件費、電気料、燃費のUPや人手不足。

実施予定の事業や施策

生産の安定の為、社員の増員を図りたい。

最大関心事

コロナが一段落し市場が如何成るか？



岡田電気産業 株式会社

【いわき市】

代表取締役会長

岡田 浩一

(電設資材・建材卸売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉世界各地で頻発している紛争が世の中の不安定を招き人の心が内向きになりつつある。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

今年の課題

世情の動向にかかわらずマイペースで前向きな発想を大事にしたい。

実施予定の事業や施策

特になし。

最大関心事

人手不足の解消。



小名浜石油 株式会社
【いわき市】

代表取締役社長

高 谷 竜太郎

(倉庫業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

今年の課題

1. 少数精鋭体制の構築による更なる合理化・効率化と安全操業の継続の両立を追求する

2. EX をビジネスチャンスと捉え、既存事業の収益を補完・代替しうる安定的な新規事業の開発に努める

実施予定の事業や施策

1. ハラスメント対策含むコンプライアンスの再徹底
2. 5類コロナを見据えた中での働き方の見直し
3. コスト削減と既存事業の収益力向上による利益の確保

最大関心事

カーボンニュートラル実現に向けたエネルギー業界の取り組み。



株式会社 オノヤ
【須賀川市】

代表取締役社長

小 野 浩 喜

(リフォーム工事業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉住宅市場が新築から既存・中古住宅へシフトすることで住宅リフォーム需要が伸びるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉当社の強みである高品質で付加価値

の高いデザインリフォーム需要が高まり宮城、宇都宮、東京におけるシェア拡大が期待できるため。

今年の課題

1. 営業エリア、シェア拡大にむけた人材確保と育成
2. 当社知名度、信用力の向上

実施予定の事業や施策

株式上場を目指した社内体制の整備とシェア拡大に向けた新規出店計画。

最大関心事

観光業や飲食消費回復による県内経済の活性化。



笠原工業 株式会社
【須賀川市】

代表取締役社長

笠 原 賢 二

(製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

今年の課題

売上・受注高の回復並びに原燃料等の上昇による適切な価格転嫁。

実施予定の事業や施策

マーケットに基づく自社オリジナル製品開発への投資。

最大関心事

雇用・所得環境の改善とエネルギー問題。



株式会社 釜屋
【須賀川市】

会長

近藤 準一

(再生資源卸売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上は現行相場で推移すれば昨年並と思われる。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉相場に大きな変動がなければ昨年

並と思われる。

今年の課題

1. 人材育成
2. 省力化
3. 付加価値の向上
4. 取扱数量の増加

実施予定の事業や施策

車輛・重機等の更新。

最大関心事

1. スクラップ相場の動向
2. 地域経済の動向
3. 為替相場の動向



株式会社 吉城光科学
【須賀川市】

取締役会長

吉田 俊夫

(精密硝子製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉新型コロナウイルス感染症収束による受注増。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉自動機の導入に依り、経費節減。

今年の課題

1. 人材育成
2. 人手不足に依る人件費の高騰

実施予定の事業や施策

1. 工場移転に依る合理化
2. 新製品への取組

最大関心事

1. 為替の動向
2. 仕入高の高騰



北芝電機 株式会社
【福島市】

取締役社長

安藤 秀泰

(電気機械器具製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉受注が対前年同期比で増えており2023年比増産基調。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉上記の増産を主要因とした好転。

今年の課題

福島県内企業という位置づけを活用したカーボンニュートラル社会への貢献。

実施予定の事業や施策

カーボンニュートラルに貢献する製品群の市場への積極アピール。

最大関心事

原油／原材料価格の高騰影響、および国内外の需給動向影響。



株式会社 北日本金型工業
【会津若松市】

代表取締役社長

小 椋 庄 太

(プラスチック金型製造及び製品成形業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉既存分野の中で一部受注の停滞が見られるものの、ここ数年で取引が始まった新規顧客からの受注増もあり、一進一退の状況が続く。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉足下のエネルギー価格は若干落ち

着いているが、全般的なコスト、労務費等は増加傾向にあり、見通しが立てづらい。

今年の課題

生産技術のさらなる共有と底上げ。既存事業以外の新規事業の開拓、取り込みを目指した営業展開。

実施予定の事業や施策

前年に導入した新規生産設備による新たな事業分野の取り込み、拡大。生産効率化省力化を目指した生産体制の一部自動化。

最大関心事

世界情勢の不安定化による原油、エネルギー価格への影響。円安が続き、物価が高止まりしている事での経済への影響。



協和木材 株式会社
【埴町】

代表取締役

佐 川 広 興

(製材業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉住宅価格の上昇や、空家の増加などで住宅着工数は減少する。ただ木材需要については、国内需要の6割を供給している外材の価格が資源の減少や円安により高値を維持している。国産材に需要が移っているため販売量は維持できる見込み。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉森林資源の蓄積量が年々増加しており今後伐採量の増加が予想され原木価格は安定している。輸入木材との競争力は向上する。

今年の課題

国産材杉材原木を伐採し建築向けの本材製材品と集成材を生産しているが伐採収穫後の再造林が進んでいない。造林を担う組合を作り、植林を進めているが造林技術者不足で再造林が進まない。

実施予定の事業や施策

製材工場のCO₂排出ゼロをめざし今年に森林バイオマスによる発電の計画を進めていく。

最大関心事

花粉症対策で杉山林の伐採増計画が進んでいる。現在でも林業労働者が足りない中、伐採作業者の確保や、製材業者の加工量増をどのように進めるのか。



株式会社 クラシマ
【福島市】

代表取締役社長

倉 島 卓 史

(エネルギー供給・卸小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉販売数量は減少するが、長期化する紛争を起因し、燃料油を始め各商材が価格上昇する可能性が高く、結果として横ばいを予想。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉激変緩和補助金の年度内終了が想定され、採算はやや悪化を予想。

今年の課題

1. エネルギートランジションに向けて、安全性の高いエネルギーの安定供給継続
2. 改正省エネ法に基づく、省エネ住宅改修対応継続

実施予定の事業や施策

1. 2023年3月開所の水電解型固定水素ステーションによる水素供給拡充
2. 中核事業の充実

最大関心事

1. エネルギートランジションの方向性
2. 原油価格の動向



株式会社 クレハ
生産・技術本部 いわき事業所
【いわき市】

執行役員 生産・技術本部長
いわき事業所長

木田 淳
(化学工業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉機能製品は今後も堅調な需要が続くと見込んでおり、それに伴い生産も高操業度を維持する見込み。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉原燃料価格高騰の影響は、製品価格への転嫁等の対策を進めているが、ウクライナ情勢の影響により、利益予算は

前年並みとなる見込み。

今年の課題

1. 継続的な経済価値の向上
2. 社会課題解決への貢献
3. 環境負荷低減目標への貢献

実施予定の事業や施策

1. 技術立社の再興：成長事業の生産体制構築と環境負荷軽減に向けた生産技術力、エンジニアリング力の強化
2. 経営基盤の強化：サステナビリティ経営を推進する組織の強化
3. 会社と社員の共生：「働きがい」と「ミッション」を調和・融合させ、社員と会社双方が成長

最大関心事

CO₂削減、カーボンニュートラルに向けた取り組みによる化学産業への影響。



郡山運送 株式会社
【郡山市】

代表取締役社長

小野田 弘明
(貨物自動車運送業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉円安や物価高により景気は低迷。特に福島県は福島原発の処理水の問題により、風評被害が懸念される。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉燃料価格の高騰、トラック車両、

トラック修理、タイヤ等の価格も上昇しており、経費大幅増加が予想される。

今年の課題

1. 人材採用
2. 人材育成、能力開発
3. 新規顧客開拓

実施予定の事業や施策

1. 営業力強化
2. 採用活動強化
3. 安全活動強化

最大関心事

1. 国内・県内の景気動向
2. 軽油価格
3. トラック2024年問題



郡山精器 株式会社
【郡山市】

代表取締役

高橋 勝
(輸送用機器部品製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉受注減により売上減少。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉受注減による採算悪化。

今年の課題

収益性の改善。

実施予定の事業や施策

生産仕組み、体制の見直し。

最大関心事

1. 国内、県内の景気動向
2. 為替レート ドル高/円安の安定



コバヤシグループ

【川俣町】

代表取締役

小林 仁一

(石油製品販売及び管工事業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉

1. コロナ禍の解消による、人の移動、インバウンドなどの回復
2. CO₂削減に関する補助金のさらなる充実による需要の増加

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉燃料の減少と人口減少により市況の悪化による影響で収支バランスが困難になりそう。

今年の課題

業態チェンジ、脱燃料、修理技能の向上。

実施予定の事業や施策

1. ガソリンスタンドの多機能化
2. 修理技能教育、省エネ脱化石燃料投資の支援

最大関心事

福島東西開発の行方。



齋榮織物 株式会社

【川俣町】

代表取締役

齋藤 栄太

(絹織物製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉

原料高や物価の高騰を受け、消費が低迷するため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉

価格への転嫁は進んでいるが、円

安や物価上昇率が早すぎるため。

今年の課題

新規顧客開拓、人材確保、技術継承。

実施予定の事業や施策

生産体制の見直し、オーガニックな原材料を使用した新商品開発。

最大関心事

円相場の動向。



サンヨー缶詰 株式会社

【福島市】

代表取締役社長

三枝 通晃

(食料品製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉

1. 業務用関係の需要が戻ってきた
2. 国産果実の加工品の需要も増えてきた

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉売上は多少伸びると思われるが、資材の値上り、人件費の増加などにより、経費は増えていく。単純に価格転嫁も難しい一方、生産性を上げるだけでは難しいと思われる。

今年の課題

人材確保。

実施予定の事業や施策

ラインの再構築。

最大関心事

政府主導の賃上げに地域の企業がどう対応していくか。



株式会社 シグマ

【磐梯町】

代表取締役社長

山木 和人

(精密機器製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉輸出比率が9割のため、主要市場の一つである欧州の景気減速が業績の足を引っ張るかたちとなる。それをアジア圏で補い、前年並みを目指す。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉世界的インフレによって、消費者の行動が慎重になり、高単価商品が売れにくい状況になっている。原材料、エネ

ルギーコストの上昇も利益圧迫要因となるが、魅力ある新製品の投入によって付加価値を上げ、現在並の利益水準を確保したい。

今年の課題

環境負荷低減を伴うモノづくりへの挑戦。

実施予定の事業や施策

積極的な新製品開発と要素技術の研究、各種研修などを通じた人材育成の強化。

最大関心事

ウクライナ戦争や米中関係によって緊張が高まっていた世界情勢に、イスラエル・パレスチナの紛争が加わり、広域紛争に発展する可能性がこれまでになく高まっている。憎悪の連鎖を断ち切り、より良い社会へ向けて新しい一歩を踏み出すことができるかどうか、人類の叡智が試されている。



渋谷レックス 株式会社

【福島市】

代表取締役社長

渋谷 裕司

(菓子卸売・小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉国内外を問わず、菓子食品の流通チャンネルが多様化してきており、これに伴い新規チャンネルでの取り扱いの可能性が増加していると考えられるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上の上昇による収益増は見込めるものの、新規投資の計画も進めている

ため、全体の採算状況は変わらないと考えられるため。

今年の課題

1. 人財の確保と育成に関する課題
2. 社員の満足度向上を目指す取り組み
3. 時代の変化に対応した組織の再構築と革新

実施予定の事業や施策

1. 国内外市場における新規開拓と既存市場の深耕
2. EC事業の更なる拡大
3. 労働環境の更なる向上

最大関心事

1. 菓子業界における国内外の市場動向
2. 消費者の購買傾向
3. 為替の変動が与える影響



常磐共同ガス 株式会社

【いわき市】

代表取締役社長

小野寺 智 勇

(ガス事業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉

1. お客様規模の拡大
2. 機器販売が好調

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉原料高騰の沈静化

今年の課題

1. 人材育成
2. カーボンニュートラルへの対応

実施予定の事業や施策

1. 新エネルギーの取組み
2. 営業エリアの拡大

最大関心事

若者が県外流出する中での人材確保。



常磐興産 株式会社
【いわき市】

常務取締役

下山田 敏 博

(サービス業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉コロナ禍でダメージを受けた観光業界だが、国内旅行の需要が拡大傾向、業界は活気が戻ってきている。外国人インバウンドの流れにも期待。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉旅行や研修等で施設を利用する人

の流れが回復しているものの、物価上昇が今後も続けば、消費鈍化の要因になることが予測される。

今年の課題

1. 安定的な収益構造体質の推進
2. 必要な人材の確保と育成
3. サステナビリティの取り組み

実施予定の事業や施策

いわきグリーンフィールド「ネーミングライツ」契約に基づく、「ハワイアンズスタジアム」を有効活用した広告・宣伝・集客により、地元貢献。

最大関心事

1. 旅行業界・観光消費等に関する動向
2. 労働市場及び雇用関係の動向
3. 国内景気及び海外景気の動向



有限会社 白河東西運輸
【白河市】

代表取締役

渡 辺 貴 志

(貨物運送業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉物流の2024年問題に向けてトラック稼働時間が減少するため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉売上が減少しつつも固定費増加へ

の懸念がある。

今年の課題

1. 運送業界の売り上げ減少
2. ドライバー（若年労働者）不足

実施予定の事業や施策

1. 荷待ち時間や手荷役作業の削減など労働環境の改善
2. ドライバー運転時間の見直し

最大関心事

事業継続に必要な運賃料金の改定。



須賀川瓦斯 株式会社
【須賀川市】

代表取締役社長

橋 本 直 子

(エネルギー小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉円安、原油高の影響が継続する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉

1. 容量拠出金制度による収益悪化
2. 政府の負担軽減措置が終了した場合

の需要家への影響

今年の課題

1. 人材確保と教育
2. 競合他社との差別化

実施予定の事業や施策

1. 自家消費型太陽光発電の推進
2. 脱炭素に向けた提案（カーボンオフセット LPG、CO₂フリー電気）

最大関心事

1. 円安と原油価格、中国経済と欧州の天候
2. カーボンニュートラルに向けた取り組み



株式会社 ダイユーエイト
【福島市】

代表取締役会長兼 CEO

浅倉 俊一

(ホームセンター)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉物価の値上りで、買い控え、節約志向に消費マインド変化。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉物価高により客単価は増加するが、客数が減少。

今年の課題

グループのシナジー効果を最大化する。

1. システムの統合
2. メーカー（ナショナルブランド商品）のバイイングパワー
3. PB（プライベートブランド）商品の拡大

実施予定の事業や施策

1. 既存店の改装による活性化
2. 新店（ホームセンター・プロショップ）

最大関心事

1. 円安の進行による物価高への影響
2. 流通業界の企業の再編



大和自動車交通 株式会社
【福島市】

代表取締役社長

大村 雅恵

(旅客自動車運送業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉コロナ5類へ移行後、多少売上は回復傾向だが、乗務員減少による稼働率低下等の影響も拡大すると予測されるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉乗務員不足が深刻化する中、燃料費や物価の高騰は続き、経費増加が見込まれる。

今年の課題

1. 乗務員不足の解消
2. 労働時間・勤務交番の検討

実施予定の事業や施策

1. 配車システム運用による効率化の検証
2. 自動日報やデジタコのデータ活用による安全管理体制の見直し

最大関心事

「ライドシェア」の今後の展開。



高田産商 株式会社
【棚倉町・白河市】

代表取締役社長

沼田 重一

(建設資材卸売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上は変わらないと考えますが、地域における公共事業の減少、大型案件の工期の遅延、また一般住宅の資材高騰による需要の減退の対応に苦慮する見込み。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉原価コストの上昇（材料、燃料、電気代、物流、外注費の高騰等）とその価格転換の遅れが生じる予想。

今年の課題

全ての事業部の人財不足と社員教育。

実施予定の事業や施策

加工機械導入、倉庫増築、営業強化（販売エリアの拡大）、展示会の実施。

最大関心事

1. 地方の少子による人口減少は最も深刻であり、その影響でお得意様の事業継承と全ての県内企業の担い手不足
2. 福島原発の処理水による影響



株式会社 高良
【南相馬市】

代表取締役

高橋 隆助

(再生資源卸売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

今年の課題

1. 物流の2024年問題への対応
2. 人材確保

実施予定の事業や施策

1. 新規のリサイクル事業の開拓
2. 廃太陽光パネルリサイクル事業の展開

最大関心事

物流2024年問題による運賃値上げ、運転手不足の動向。



滝口木材 株式会社
【いわき市】

取締役会長

滝口 彰一郎

(木材建材販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉急激な円安により商品単価が上昇し需要が減少する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉急速な円安により輸入コストが急

激に上昇、国内販売に於いて上昇分を吸収出来るかが問題点。

今年の課題

急激な円安により輸入コストが急上昇し国内販売に於いて上昇分を吸収出来るかが問題点。

実施予定の事業や施策

1. 加工度の高い付加価値商品開発
2. 国内材の取組み強化

最大関心事

ウッドショックに起因する木材需要の動向。



伊達物産 株式会社
【伊達市】

代表取締役

清水 建志

(食品製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉インバウンドの増加による売上増加。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上増加するが経費が上昇しているため。

今年の課題

1. 生産部門の人手不足
2. 資材などの高騰への対応

実施予定の事業や施策

事業所の集約等による生産性向上。

最大関心事

1. 鳥インフルエンザの流行
2. 飼料価格の推移



テクノメタル 株式会社
【二本松市】

代表取締役社長

三 浦 哲 夫

(輸送用機械器具製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉中国経済の失速や、海外での戦争、紛争等の地政学リスクの影響により、主要顧客からの受注トレンドが見通しにくい状況のため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉円安の長期化と売上高の大幅な伸

びが期待できない状況にあるものの、合理化、採算向上施策の推進により、採算性を維持するため。

今年の課題

1. 円安トレンドの長期化に伴う、製造コスト増加への対応
2. 地域労働力の確保

実施予定の事業や施策

1. 高付加価値新規ビジネスの受注拡大
2. 合理化、省人化投資による生産効率向上

最大関心事

1. 世界経済の景気減速懸念
2. 脱炭素化、EV化に向けた業界の対応



株式会社 同仁社
【福島市】

代表取締役社長

村 上 徹

(生活関連サービス業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉事業別に、良化・現状維持・減少が顕在化する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉資機材費の高騰、人件費の見直しなどコスト増要因が多い。

今年の課題

1. 収益の確保と増収対策

2. 人材育成とリスク管理
3. 一人当りの付加価値向上

実施予定の事業や施策

1. 生産性向上、トータル営業、事業間協働の継続
2. 自己研鑽出来る従業員教育の充実と6S活動の強化
3. DX推進による付加価値向上と、リース・レンタルを通じたSDGsへの取り組み

最大関心事

1. 物価上昇に伴う景気動向
2. 人手不足対策と最低賃金上昇
3. 大型商業施設の進捗



東北ネチ製造 株式会社
【いわき市】

代表取締役社長

関 口 龍 一 郎

(金属製品製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉資源高。

今年の課題

人財育成。

実施予定の事業や施策

再生可能エネルギー向け事業。

最大関心事

福島県内における風力発電プロジェクト。



東洋システム 株式会社
【いわき市】

代表取締役

庄 司 秀 樹

(電子応用・電気計測機器製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉業界に於けるカーボンニュートラルへの取組みが各社強化されてCO₂削減に向けた開発が新たな展開を期待出来る為、当社が得意とするカスタマイズ方式の生産方法が活発に出来る。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉2023年6月に開所した関西評価セ

ンター（受託業務）の稼働開始に伴い各車メーカー及び電池メーカーからの引き合いが増えている。

今年の課題

1. 若手社員の教育・育成
2. 全社的な専門スキルの向上

実施予定の事業や施策

新事業（電池の寿命診断）の早期事業化。

最大関心事

カーボンニュートラルへのスピーディな対応が出来るメーカーが生き残る時代へと突入して行く為当社も柔軟な対応が出来るよう開発スピードを上げて行く事が重要。



株式会社 トプコンオプトネクス
【田村市】

取締役社長

村 松 克 彦

(光学機械器具・レンズ製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉欧米を中心に景気不透明感が継続。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉部材不足は解消傾向も物価高、エネルギーコスト高が継続。

今年の課題

生産性の向上。

実施予定の事業や施策

1. 人財教育、育成
2. デジタル化推進

最大関心事

光学業界の動向。



トミー 株式会社
【いわき市】

代表取締役

川 口 展

(歯列矯正装置製造販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉コロナ禍復興でかかえていたバックオーダーを完全に出荷できたため、その反動で最近の受注が落ち込んでいるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉うちは半分以上が輸出なので、円安の恩恵は大きい。

今年の課題

管理システムの更新。

実施予定の事業や施策

老朽化した工場建屋の建て替え。

最大関心事

東電処理水放出に伴う風評被害。



トヨタカローラ福島 株式会社
【郡山市】

代表取締役

佐藤 良也

(自動車販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉車の長納期は若干の改善がみられたものの、通年での業績は前年並みの予想。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉同上。

今年の課題

業務のデジタル化に対応できる人財の育成。

実施予定の事業や施策

新車点検工場の移転新築。

最大関心事

EVの商品ラインナップと給電インフラの整備動向。



株式会社 トライアンフ
【須賀川市】

代表取締役社長

半澤 浩樹

(人材派遣業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉コロナの影響が減り国内・海外とも人材の動きが活発になって来る為。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉賃金の上昇にも対応が出て来る為

採算は変わらない。

今年の課題

採用、教育、システム化による組織力強化。

実施予定の事業や施策

1. 農業分野への進出
2. 外国人向け職業紹介、転職支援サービス

最大関心事

技能実習制度の新制度への改変。



株式会社 ナプロアース
【伊達市】

代表取締役

池本 篤

(自動車部品卸売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉自動車業界における流通量の減少に伴い廃車発生数も低迷。国内海外からの自動車中古部品のニーズはあるが、十分に供給できていない。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉案件減少により、仕入れにおける価格競争が激化している。取り扱い車種

によっては採算が合わない案件も発生している。

今年の課題

1. 人材の確保および育成
2. 事業拡大のための営業育成体制の構築
3. レアメタル等の市場相場急変動

実施予定の事業や施策

1. DXの推進による生産性や正確性の向上
2. 商品のラインナップや在庫量の拡大
3. ブランディングにより認知度向上

最大関心事

1. 自動車業界に対する不信感の拡大
2. ロシア・ウクライナ問題による貿易取引や市場相場の変動



成田食品 株式会社
【相馬市】

取締役会長

佐藤 義信

(食料品販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉コロナ禍からの経済活動の正常化、賃金上昇の機運が続き個人消費の回復により、やや好転すると思われる。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉流通が不安定状況下にあるが一定の原材料等の確保に努め開発商品等の生産アップで需要拡大を図り、採算コストの安定化を図る。

今年の課題

社員の意識改革化を図り、営業情報の収集と分析を進め商品開発及び生産販売の拡充を進める。

実施予定の事業や施策

1. 新商品の開発と新規販売先の確保を念頭に従前販売先の整備（意見・情報）充実
2. 外国人労働者の雇用拡大と環境整備及び研修の充実・強化
3. 将来に向けた人材の確保と指導育成を推進

最大関心事

1. 継続した新型ウイルスとコロナ対策
2. 電気、ガス、原油価格等高騰の値上げ対策
3. 異常な地球温暖化等自然災害による日本経済への影響
4. 中国経済の減速による日本経済への影響



株式会社 日ピス福島製造所
【川俣町】

代表取締役社長

楊 忠亮

(輸送用機械器具製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉

1. 業界での生産状況（燃料車、EV車）内容の不変
2. 受注状況の不変

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉

1. 原材料価格の高止まりから値下がり

への変動

2. 電力料金の見直し

今年の課題

1. 若手人財の採用、育成
2. SDGs、カーボンニュートラルへの取組
3. 円安含め、諸物価の値上り

実施予定の事業や施策

1. 生産性向上への取組
2. 原価低減活動の推進
3. 品質最優先活動

最大関心事

1. 賃上げ等施策による経済循環
2. インバウンドによる好影響
3. 水産業への全国からの支援活動



日本全薬工業 株式会社
【郡山市】

代表取締役社長

福井 寿一

(動物用医薬品製造販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

〈理由〉自社・国内外ビジネスパートナーの既存製品及び新製品の販売拡大により好転する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

〈理由〉研究開発・設備・人材に関する必

要な投資を継続して進める一方、売上増加や新工場の稼働率向上により採算状況は好転する。

今年の課題

1. 生産体制の強化
2. 国内・海外市場を目指した研究開発の加速化

実施予定の事業や施策

中期経営プラン達成に向けた各事業の推進。

最大関心事

物流業界における2024年問題。



根本通商 株式会社
【いわき市】

取締役社長

根本 克 頼

(卸小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉ガソリン減販傾向は継続しつつも生コン需要は増加し好転する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉生コン需要は売上も需要とともに

改善していき、ガソリン燃料減販傾向は継続していくが、採算状況は好転していく。

今年の課題

デジタル化推進による生産性向上。

実施予定の事業や施策

1. 水素事業の販売拡大
2. 各種生コンクリートの安定生産

最大関心事

新モビリティサービス事業の動向。



野地 株式会社
【川俣町】

代表取締役社長

野地 一 吉

(織物製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉生産量はほぼ横ばいだが、価格転嫁により売上は増加する見込み。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉コスト高の影響で不採算のものを

見直し、価格転嫁を行っているため。

今年の課題

人材育成、スピーディな取組。

実施予定の事業や施策

ITを活用した不良率の低減と生産性向上、方針策定書の達成。

最大関心事

エネルギーコストの動向。



株式会社 パティズ
【会津若松市】

代表取締役

齋藤 啓 一

(ファンシー雑貨小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉ウクライナ戦争後の急激なインフレが世界的に加速しているために消費者が食料品優先でアパレル雑貨が後回しになってきている。商品値上がりで上昇しているが、客数が大幅に低下しているため全体の売り上げが減少している。イスラエルとイスラムとの戦争もあり、物価が安定するまで時間がかかりそう。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉上記の理由で世界的な物価が安定するかどうかにかかっている。このままインフレが続く様であれば楽観視できない。

今年の課題

1. オリジナル商品の開発
2. 人材確保

実施予定の事業や施策

1. 昨年に続きスクラップ&ビルドを推し進める
2. 店舗のLED化を進める
3. 卸業務が順調に進んでいるので引き続き強化

最大関心事

1. 福島県の風評被害がどの様に落ち着くかどうか中国側の対応がどうなるか
2. 中国の観光客が本格的にいつ戻るのか



株式会社
ハニーズホールディングス
【いわき市】

代表取締役社長

江 尻 英 介

(婦人服小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉商品単価を上げるものの、品質に対する価格優位性を維持できる見通し。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上はやや好転するも円安による原価高と人件費の上昇により採算は変わらない。

今年の課題

1. 商品力、販売力の強化
2. 業務効率化、物流機能の強化
3. EC事業のさらなる拡大

実施予定の事業や施策

1. CX (顧客体験価値)
2. DX (デジタル・トランスフォーメーション)
3. EX (従業員体験)
4. SX (サステナビリティ・トランスフォーメーション)

最大関心事

1. 為替変動
2. 物価上昇の影響
3. 賃金上昇の影響



株式会社 フクイシ
【田村市】

取締役会長

佐 藤 利 男

(石材業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉輸入材は底硬く維持できるが、国産材に於いては伸び悩むため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉円安で輸入コストは上昇しているが、他の事業部門では効果を発揮する

ため。

今年の課題

1. 工場加工製品の出荷が減少している
2. 輸入材も多く取扱っているため円安の影響を受けやすいこと

実施予定の事業や施策

1. 光り墓(ガラス墓)の販売拡大に注力
2. 営業システムツールの導入

最大関心事

1. 福島国際研究教育機構 (F-REI、エフレイ) の次世代エネルギー開発
2. 国政選挙により我が国の経済環境に変化がみられるか?



株式会社 福島アスコ
【二本松市】

代表取締役

内 藤 哲 太 郎

(アスファルト混合物製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉土木関連予算の減少、設備の入れ替え (アスファルトプラントの改修) に伴う生産ロス。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉新規事業が売り上げに貢献している。全体では多少の増減はあるが、概ね前年並み。

今年の課題

コスト上昇に見合う値上げの実施。

実施予定の事業や施策

設備の刷新・人材育成・働き方改革。

最大関心事

円安・原油高に伴うエネルギー価格の上昇。



福島県南酒販 株式会社
【郡山市】

代表取締役社長

山口 哲行

(酒類・食品卸売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

〈理由〉23年5月のコロナの5類変更により、イベント等が再開され町に活気が戻ってきた。これに伴い当社の売上げ状況も夏以降大きく改善した。その傾向が24年も継続するものと考えている。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉22年秋ごろからの値上げラッシュ、23年10月の酒税改正にあたって、当社も

コストオンに努め一定の成果を上げて来たが、一方で、低価格化の波も大きい。

今年の課題

コロナの影響で消費者のニーズや消費行動が大きく変化した中で、コロナの先の世界に向け、ビジネスモデルの見直しが必要になってくるかもしれない。

実施予定の事業や施策

1. コロナ禍で苦況におちいった中で策定した「3ヶ年経営改善計画」を着実に進めること。
2. 物流2024年問題に対応するため、従来の取引慣行を必要に応じて見直すこと。

最大関心事

1. 物流2024年問題への対応
2. 酒類の社会的管理要請への対応
3. インボイス制度への対応 (継続)



福島製鋼 株式会社
【福島市】

代表取締役社長

登坂 明弘

(輸送用機械器具製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉自動車(商用車)事業の回復により、売上・生産はやや好転を見込む。しかしながら海外情勢の不透明感から需要の減速リスクは残る。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉自動車(商用車)事業の回復により、採算についてはやや好転を見込む。コスト上昇等で更なる生産性の向上が必要。

今年の課題

1. 物流2024年問題対応
2. パートナシップ構築宣言の実効性向上

実施予定の事業や施策

事業軸ごとの原価改善活動(競争力強化)。

最大関心事

カーボンニュートラル実現に向けた水素活用等の技術革新。



株式会社 福島製作所
【福島市】

代表取締役社長

百田 昭洋

(産業機械製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉

1. グラブバケット本体の受注環境は堅調が継続
2. グラブバケット、船用機器のアフターサービスも全般的に堅調
3. 水力発電関係のサービスマーケットは拡大傾向

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉

1. グラブバケットについては、コストダウンを継続
2. サービス部門と水力発電分野の更なる拡充を図る

今年の課題

永年の課題であった甲板機械分野からの陸上部門への構造転換を24年度中に完遂させる。

実施予定の事業や施策

新規事業分野への開拓、他社との協業の拡大検討を加速させる。

最大関心事

脱炭素社会への転換を目指す中での当社の役割の再認識と位置付けをどの様に行うか。



福島トヨペット 株式会社
【郡山市】

代表取締役社長

佐藤 修 朗

(自動車販売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉2024年は半導体市場の回復が見込まれ生産規模も若干ではあるが回復すると思われるが、2024年以降の物流問題がどう影響するかは見通せない状況です。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉サービス部門の1人当たりの生産性(効率)の見直しを図り収益性向上を目指す。

今年の課題

「お客様に選んで頂ける店づくり」と採用、人財育成の強化。

実施予定の事業や施策

将来に向けたグループのリソースの最適化と再配分。

最大関心事

1. EV化の動向
2. 2024年物流問題の影響



フクデン 株式会社
【いわき市】

代表取締役社長

武藤 靖 典

(産業用自動化設備製造)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉人手不足もあり新規クライアントからの生産自動化の案件が増加見通しの為。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉

1. 新規設備案件が例年と比べ多く開発要素(先行投資)がある為
2. 原材料の高騰と価格転嫁にタイムラグがあり減益を余儀なくされている為

今年の課題

1. 人財の確保と育成
2. 生産効率の改善

実施予定の事業や施策

新規開発設備の技術確立。

最大関心事

世界の自動車業界EV化シフトに伴う日本自動車業界の影響と今後の動向。



株式会社 プレイノベーション
【郡山市】

代表取締役社長

菅家 元 志

(情報通信業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉デジタル化に取り組む企業の増加が見込まれるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉デジタル人財の採用・育成に時間を要するため。

今年の課題

1. 人財の確保と育成
2. 顧客基盤の安定化・拡大
3. 生産性向上

実施予定の事業や施策

1. 新商品の開発
2. 販売強化
3. 採用・育成強化

最大関心事

生成AIの普及・活用。



保土谷化学工業 株式会社
郡山工場

【郡山市】

執行役員 郡山工場長

武居 厚志

(製造業、化学工業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉「ドル高・円安」による輸出増があるものの、原材料の輸入コスト増+物価上昇の影響が更に続く可能性があるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉同上。

今年の課題

1. 新規設備投資
2. 地域貢献

実施予定の事業や施策

1. 新製品の販売
2. コストダウン

最大関心事

2022年、2023年と落ち込んだ経済の回復状況。



マツモトプレジジョン 株式会社
【喜多方市】

代表取締役社長

松本 敏忠

(精密機械部品製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉2023年度は、取引先の在庫調整などで、受注影響を受けていたが、2024年度は、後半を目処に回復予定。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉売上と投資の均衡による。

今年の課題

サステナブル経営（環境、社会、経済の持続可能性への配慮）を考慮した企業価値向上への取り組み。

実施予定の事業や施策

太陽光発電、電気自動車、充放電システム、工場内空調との連動によるエネルギーマネジメントシステムの構築。

最大関心事

DX と GX の取り組み推進。



丸三製紙 株式会社
【南相馬市】

代表取締役社長

神山 敦

(紙パルプ製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉インバウンドの増加もあり人の流れは活発化しており、全体的には回復基調とは思いますが、人々の購買意欲は今一つで、段ボール需要の盛り上がりはもう少し先になると見込む。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉製品の値上げは完結できたが、世界情勢からすれば、まだまだ燃料関連のコストアップは必至と思われる。

今年の課題

カーボンニュートラルに向けたCO₂の削減のため、エネルギー転換を目的とした設備投資を計画中。

実施予定の事業や施策

物流関連の諸条件の改善に向けた対応。

最大関心事

人財の確保。相双地区の若者の人口増加回復のための国・県の復興対策に大いに期待したい。



株式会社 マルト
【いわき市】

代表取締役社長

安 島 浩

(食品小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉他社との競争があるため。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉賃金の上昇、改装・設備更新のコスト増加。

今年の課題

お客様の満足度向上。

実施予定の事業や施策

店舗リニューアル。

最大関心事

エネルギーコスト上昇に対する政策。



マルナカ 株式会社
【二本松市】

代表取締役社長

遊 佐 憲 雄

(建設業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉2020年度以降から再生・復興創生事業及び激甚災害事業の予算が無くなり、一般公共工事は震災以前の通常事業予算となっている。その為、競合他社との競争も激化、受注機会は減少する。戸建て住宅を始め民間投資についても、資材高騰や金利上昇傾向の影響もあり、厳しい状況になると思料する。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉海外情勢不安の影響による資材や燃料高騰は今後も続くと思われるが、高

騰したコストを価格転嫁するのは難しく、内部で吸収せざるを得ない。また、我々建設業界に於いても2024年問題は深刻な問題であり、その対策に対しての経費増も採算悪化の要因と思料する。

今年の課題

1. 公共工事に依存しない受注体制、民間工事などからの受注確保
2. リーダーとなる人材育成
3. 若手技術者の育成

実施予定の事業や施策

1. 新技術、新工法への取り組みそして挑戦
2. 第三者機関等による継続したリーダー育成研修の実施
3. 資格取得への勉強会及び社内バックアップ体制の構築

最大関心事

1. 円安、資材高騰、燃料高騰
2. 海洋放出による影響
3. 若者の慢性的な福島県離れ
4. 建設業界の入札制度



三井ミーハナイトメタル 株式会社
伊達鑄鋼事業部 伊達製鋼所
【伊達市】

取締役 事業部長

村 上 昌 也

(鑄鋼品製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉受注、売上の増加及び生産性の効率化に期待。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉国際情勢、政情不安から原材料、燃料費高騰の可能性。

今年の課題

1. 人材確保、技術、技能の伝承
2. 脱炭素社会への対応

実施予定の事業や施策

1. 脱炭素社会に向けた、クリーンエネルギーの導入
2. 設備見直しによる効率化

最大関心事

1. 労働人口の減少による人材不足
2. 原材料、燃料費、2024問題等による輸送費、人件費の高騰による経済活動への影響



三菱ケミカル 株式会社
小名浜工場

【いわき市】

小名浜工場長

兼 子 清 光

(化学工業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉石油化学関連や半導体関連市場での需要が低迷しており、今後も不透明感があるが、売上は横ばいと予測。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

〈理由〉各事業とも低調な事業環境からの回復は見られず厳しい状況だが、価格、コスト構造改革の進捗により採算は横ばいと予測。

今年の課題

1. 生産性の向上
2. コスト抑制

実施予定の事業や施策

石化・炭素事業の分離・再編。

最大関心事

1. 景気動向
2. 人材確保



三菱マテリアル 株式会社
若松製作所

【会津若松市】

所長

工 藤 英 弥

(非鉄金属圧延業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

〈理由〉自動車生産量、半導体市場の増加。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

〈理由〉自動車生産量、半導体市場の増加。

今年の課題

1. 電気料金の高止まり
2. 労務費増
3. カーボンニュートラル対応

実施予定の事業や施策

新設備の稼働開始。

最大関心事

インバウンド。



株式会社 八幡屋

【石川町】

代表取締役

渡 邊 武 嗣

(宿泊業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉コロナ感染症の5類移行後、人の往来が活性化しています。その伸びは今後も継続的にあると思われます。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉度重なる原価や燃料費の高騰に対して価格転嫁を行っています。若干ながら好転する見込みでおります。

今年の課題

1. 人材確保と労働生産性の改善
2. 社員教育と労働環境の改善

実施予定の事業や施策

温泉熱を活用したハウス栽培などの6次化へのチャレンジ。

最大関心事

高騰する原材料やエネルギー価格の動向とその対策について。



株式会社 彌満和製作所
福島工場

【福島市】

工場長

安部 正弘

(精密切削工具製造業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉円安による資材高や中国経済の減速の影響が引き続き懸念される。さらにここきて世界規模の戦争リスクを覚悟しなければならない。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや悪化する

〈理由〉原材料はじめ資材の高騰、電力費の値上げに加え、人件費への配慮が必要となる。

今年の課題

1. 新商品の市場浸透をはかる
2. デジタル化による業務のスピード化

実施予定の事業や施策

1. 新商品の市場へのキャンペーン
2. デジタル化を推進し、受注～生産～販売のコストを抑える。

最大関心事

広い意味で景気動向。



株式会社 ヨークベニマル

【郡山市】

代表取締役社長

真船 幸夫

(小売業)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉新型コロナウイルスの分類が5類に移行し消費の回復が期待できる。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

やや好転する

〈理由〉物価上昇と原油・原材料の価格高騰などの影響はあるが、新型コロナウイルスの影響も緩和され、経済活動の正常

化が進み景気も回復傾向になると考えられます。

今年の課題

1. 人財の確保と生産性の改善
2. 原材料の確保と高騰への対応

実施予定の事業や施策

1. 新規出店
2. 既存店の改装
3. デジタルを活用した生産性改善

最大関心事

1. 景気動向
2. 為替の動き
3. 人口減少
4. 物価上昇の影響

株式会社 リオン・ドール

コーポレーション

【会津若松市】

代表取締役

小池 信介

(スーパーマーケット)

国内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

県内景気見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

変わらない

売上・生産見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

〈理由〉店舗数の増加。

採算見通し

〈2024年は2023年に比べて〉

好転する

〈理由〉業務の効率化。

今年の課題

生産性の向上。

実施予定の事業や施策

1. 作業の効率化
2. デジタル化の推進

最大関心事

人口減少、高齢化によるマーケットの縮小。